

# 再犯率最悪 40%超す

## 窃盗・覚せい剤目立つ

犯罪白書

犯罪を繰り返す「再犯者」の割合が高まっていることが、法務省が13日に公表した

09年版の犯罪白書で分かった。一般刑法犯(刑法犯から過失による交通事故を除いたもの)の検挙者に占める再犯者の割合は08年に41・5%に達し、公表された統計で確認できる68年以降で最高。窃盗と覚せい剤取締法違反が目立っている。14面に関係記事

定した仕事、周囲の支えを得ることが大切だ」としている。

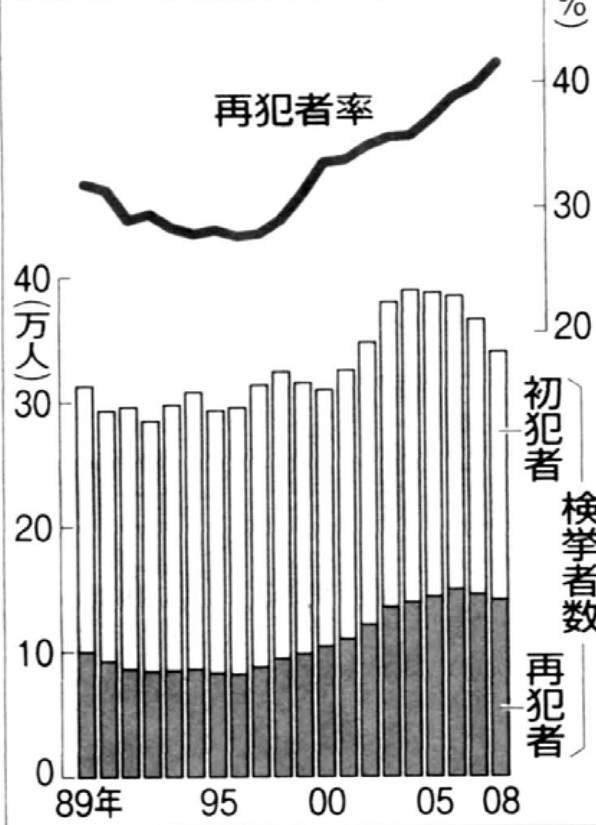
白書によると、前に特別法犯か刑法犯で検挙されたことがある「再犯者」は96年は8万2千人弱で、一般刑法犯の検挙者に占める割合(再犯者率)は27・7%。06年には14万9千人を超えて38・8%に。再犯者の数は07年から減少、08年は14万939人になったが、全体の検挙者が減ったため、再犯者率は41・5%に達した。再犯で2回以上刑務所に入った受刑者のうち、前に受刑した時と同じ罪名だった割合は

窃盗が73・0%、覚せい剤取締法違反が72・2%と高かった。

白書は、法務総合研究所による調査結果を紹介。東京横浜の地簡裁で、04年中に執行猶予付きの一審判決が確定した窃盗(691人)などの「初犯者」を対象に、4年以内に再び有罪判決を受けた場合を「再犯者」と定義して調べた。窃盗では、安定した仕事がある人の再犯率は19・3%だったが、無職では34・4%となった。ただ、仕事が不安定でも、家族と同居の場合は再犯率は低かった。(延与光貞)

The Asahi Shimbun

一般刑法犯検挙者に占める初犯者と再犯者の推移



●入所2回以上の受刑者で、同じ罪名だった割合

窃盗	73.0%
覚せい剤取締法	72.2%
詐欺	46.8%
傷害	25.8%
強姦(ごうかん)	24.4%
強制わいせつ	20.0%
殺人	10.3%
強盗	10.3%